

2010 国際交流合宿 (in 山中湖) 報告集

(2010/2/13 山梨県山中湖畔にて)



目次

はじめに、合宿の概要、スケジュール	2
活動内容	3
各班の報告	
1 班 世界のバレンタイン	4
2 班 学生制服に関して	5
3 班 結婚について	8
4 班 結婚	10
5 班 男女関係へのつぶやき	12
6 班 各国のお正月	16
7 班 5ヶ国対比！色々な交通機関	19
資料 心を広くするトレーニング	23
アンケート	24
スタッフとしての一言	28

○ はじめに

2010年2月13日～14日、山中湖畔で、初めての「国際交流合宿」がおこなわれました。今回は、計画が前年の12月段階で初めて出されたため、準備期間が十分とれず、色々課題も残りましたが、留学生と日本人学生の交流を目指す最初の試みとしてはまずは成果があったのではないかと思います。詳しくは、以下の報告集を参照していただきたいですが、今回の取り組みをきっかけとして、留学生センターとして、来年度以降も、合宿をはじめ、さまざまな交流プログラムを考えていきますので、積極的な参加をお願いいたします。

留学生センター 岡 智之

○ 合宿の概要

日程： 2010年2月13日（土）～2月14日（日） 一泊二日

場所： 山梨県南都留郡山中湖村平野 210 東照館

参加者： 総49名（留学生31名、日本人学生13名、取材スタッフ3名、教員2名）

○ スケジュール

1日目（2月13日・土曜日）

9時 学芸大正門前集合、出発。一バス内での交流活動。

12時 宿舎到着。チェックイン。昼食。

13時 オリエンテーション。心を広くするトレーニング。

14時半 分科会1（テーマ決め討論）—2F セミナー室

16時半 「山中湖交流プラザきらら」へ移動。記念行事。

18時 夕食。

19時 分科会2（発表準備）

21時 交流会—1F 大広間。

23時 就寝。

2日目（2月14日・日曜日）

8:00 朝食。チェックアウト。

9:00 体操（気功&太極拳、カポイエラ）—1F セミナー室。

10:00 全体会（各グループ発表(15分×7=105分)。）

12:00 自由行動（各自昼食）。

14:00 集合、出発。途中観光（忍野八海）。

18:00 大学到着。

★ 活動内容（報告：岡）

- ・ 1日目、行きのバス内での交流活動（司会：小川）…席をくじで決め、隣り合った人同士で、お互いの国のイメージ、日本で失敗したことなどを話し合い、お互いを紹介しあった。イントロ的な活動として盛り上がった。
- ・ オリエンテーション・心を広くするトレーニング（司会：岡）—資料参照
異文化コミュニケーションのトレーニングとして 5 つの問題を出して、グループで討論（ほめられた時の答え方、叱り方、断り方、待ち合わせ時間、お返し）した。思ったより時間がかかり、(1 時間半)、あとの活動の時間にかかってしまった。
- ・ 分科会 1 グループ別に全体会で発表するテーマを決める。約 2 時間。
- ・ 分科会 2 グループ別でテーマをめぐる討論。ポスターやパワーポイントなどの資料を作る。約 2 時間。足りなかったグループは、交流会後夜に集まって作成していた。
- ・ ダイヤモンド富士ウィークの行事…あいにくの天気（雪）で富士山は全く見えなかったのが残念。「交流プラザ」での記念行事は行われていて、アイスクャンドルは見学できたが、夕食を 6 時と設定していたので、十分時間がとれず、暗くなったときのアイスクャンドルが見られなかった。花火も帰りながら見たという感じで、不満が残った。
- ・ 交流会…夕食後、大広間で飲み物とおつまみとともに、自由に交歓を行った。皆遅くまで楽しく交流したが、席は最初にくじで決めて知らない人同士の交流もはかればよかったという反省もある。夜 1 時に解散、片付け。
- ・ 2 日目朝、体操…朝食後、岡が気功&太極拳を指導。ブラジルのパシェコさんが急きょ、カポエイラの実演と指導をやってくれて好評だった。いい汗をかいた。
- ・ 全体会（司会：岡部）…各班の発表、質疑応答で時間が終わり、全体討論はできなかった。短い時間だったが、各班テーマのもとによく話し合い、よくできていたと思う。各班の内容は次ページ以降に各版の代表者が記載。
- ・ 最後の自由行動。昼食の場所を探すのに結構時間がかかってしまい、あまりゆっくり自由行動できなかった。
- ・ 観光…帰りお土産屋に寄り、忍野八海を観光。きれいな池で最後の観光を楽しんだ。

太極拳の講習



○ 各班の報告

1班 世界のバレンタイン・デイ

メンバー 岡部匠（日本） 多田美奈子（日本） リ・サイ（中国）
ジョ・ハンギ（韓国） キラティ・ジットガムスジャーリット（タイ）
ヴァシリエヴァ・アリーナ（ベラルーシ）

グループでの話し合い

話し合いでは主に日本の特徴的な事柄について様々なテーマが挙げられた。「日本の商品は面白い」「なぜ日本人は英語ができないのか」「日本では肉・野菜の値段が高い」など、いずれも議論が盛り上がったものの、発表するにはいまひとつ面白さが欠けていた。そこで発表当日がバレンタイン・デイという事でバレンタインの話になった。話の始まりは留学生からの「なぜ日本のバレンタイン・デイは男がプレゼントをもらう側なの？しかもチョコみたいなかawaiiものを男がもらうのは変。女がもらうべきだ。」という意見だった。女性が男性にチョコをあげるのが当たり前だと思っていた日本人・韓国人は驚いた。そこでそれぞれの国のバレンタインを比べてみようということになった。

わかりやすく違っていた点はバレンタインで「男性・女性どちらがプレゼントするのか」と「男性が花をプレゼントするかどうか」であった。日本では「女性が男性にチョコをあげる」のが当たり前だが、中国・ベラルーシ・タイでは「男性が女性にプレゼントをあげる」ものであり、「女性に花をあげる」のが普通だそうだ。彼らにとって日本人の男性がめったに花をプレゼントしないのをとても疑問に思っていた。

またベラルーシの高校では変わった行事が行われているらしく、それは発表に取り入れた。その行事というのは男子生徒が女子生徒に手紙を書き、それを配達係の生徒が集め、宛先の女子生徒達に配っていくというものだ。学校全体で行われる行事らしく、日本のように密やかにチョコが机の中にある、といったものとは大きく異なっている。

発表

ほとんどの分科会が模造紙での口頭発表するようだったので、違う形式になるよう寸劇を行う事にした。テーマは「世界のバレンタイン・デイ」である。「日本人編」「中国人編」「ベラルーシ人編」の3つのストーリーをそれぞれの国の人がシナリオ・セリフを考えて、演じることにした。日本語のセリフを言うだけでは分かりづらいと思い、すべてのセリフ・ナレーションをパワーポイントで文字化して、劇と同時進行で見せながら進めた。劇中何度も笑いが起こっていたので、多くの人が内容を理解して楽しめたようだ。また劇中では詳細な口頭説明は行わなかったので、観ていた人達それぞれが自分の国のバレンタイン・デイと比べて違うところを感じてくれたと思う。

（文責 岡部匠）

2班 学生制服に関して

参加者： 竹ノ内保（日本） 黒田彩（日本） ホウ・ビ（中国）
 チャン・ヘヨン（韓国） スモライニナ・エカテリナ（エストニア）
 ニコラ・シモン（フランス） ギッティスイリパン・ジャールラック（タイ）

はじめに

学生時代を過ごしてきた人たちは制服を着たことがある人がいれば、今まで着たことがない人もいるだろう。学生制服を着たことがある人たちは、多少なりとも様々な利点と欠点を実感できる一方、学生制服を着たことがない人たちにとっては、学生制服をどう思っているのか、学生制服を着ている人を見てどう感じているのか、について議論を行った。

なお、ここでは、学生制服があったほうがいいのか、それとも、ないほうがいいのか、という結論を出すことを主な目的にするのではなく、学生制服に関して多国多籍の人たちの意見を交し合うことにより、面白いなとか、勉強になったとか、とお互いに感じる事が目的であった。

1. 学生制服の存在

2班の参加者の中、制服を持っている国としては、日本を始め、中国、韓国、タイである。それに対して、エストニアとフランスは学生制服を持っていないのである。また、日本と中国と韓国は、小学生から高校生にかけて学生制服を着るという共通点があるが、タイは小学生から大学生に至るまで学生制服を着るという相違点がある。ちなみにタイの大学生の制服は、全国共通であることが他の国と異なる点であろう。

2. 学生制服の利点と欠点

学生制服がどのような利点及び欠点を持っているのか、についてはほとんど学生制服を経験した人たちからの意見だった。なぜかという、学生制服を経験したことがない人には利点と欠点あまり感じられないからだろう。

さて、学生制服の利点と欠点に関して議論したり意見を交し合ったりしたことを項目別に以下でまとめた。

2. 1 学生制服とアンデンティティ

利点：同じ意識・集団統制・統一感が生まれる。

例：修学旅行の時などというような学校内以外の場所に学生が集まると、制服を着ている本人が自分と同じ制服を着ている人を見ればお互いに知らなくても「私たち」という気持ちが生じることができる。一方、一般人から見ると同じ制服を着ている学生は同じ学校に属しているとか、学生制服を着ていればまだ学生の時代・年齢なんだとか、と意識する。

欠点：個性が失われる。

例：学生の皆にそれぞれの個性があるので、服を選ぶことにより自分の個性を出すことが大事である。また学生制服を着ていれば自分の身分・年齢を隠すことができない。学生の身分は責任感や信頼性などがまだ十分ではなかったりするというマイナスの印象を与えることもある。

2. 2 学生制服と経済的な観点

利点：経済的格差が隠すことができる。

例：皆が学生制服を着ていればお金持ちか貧乏という社会的格差が感じなくなる。学生制服がないと、お金持ちの人がお金持ちなりのブランドの服、靴、かばんなどを使うこともある一方、そうではない人なら普通の服、物を使用することが、一般人から見ても仲間同士から見てもその場における経済的格差が感じられる。

欠点：様々な費用が学生制服に付いてくる。

例：学生制服自体は値段が高い。しかも、学生制服を中心にしたものを買わなければならない。例えば、靴、靴下、かばん、ベルト、帽子などである。

2. 3 学生制服と活用方法

利点：正式な場に活用できる。

例：冠婚葬祭のようなフォーマルな式に活用できる。学校が終わった後でも着替えの手間をかからずにそのまま出席できるとか、たまにフォーマルな式に参加するのにわざわざ新しい服を買わなくても済む。

欠点：学生制服が活用できる場所が限られている。

例：主に学校に行く時しか使用できない。またフォーマルな式に出る機会が少ない。遊ぶ時に不適である。

2. 4 学生制服と思い出

利点：良い思い出になる。

例：卒業後、学生制服が持ち主にとって人生の記念物という存在になる。学生時代の仲間、出身の学校、先生、初恋などの学校で充実した日々を思い出す。日本なら好きな人から二番目のボタンをもらった嬉しさを思い出すだろう。

欠点：悪い思い出になる。

例：学生の時代を辛く過ごしてきた人にとって学生制服を見たら悪い思い出を思い出す。例えば、苛められたり恋人に振られたりする時を思い出す。

2. 5 学生制服とルール

利点：共通の基準がある。

例：学生が学校のルールに従って制服を着ることが先生の立場から見ると指導しやすい気持ちを与える。

欠点：他のルールがついでにできる。

例：学生制服そのものだけではなく、例えば髪の毛の長さ・整え方などについてのルール

もできる。日本の中学生の場合、髪の毛を長くしていいが纏め方が決まっている。髪の毛を二つに分けて縛らなければならないというルールがある。なぜ二つに分けなければならないのか、なぜ髪の毛を分けずに一つに括ってはだめなのか、に関してはまだ疑いを感じている。それに対し、タイの中学生の場合は髪の毛を短くしなければならないという国立中学校の共通のルールである。女性の髪型は両耳の端っこが髪の毛の長さの基準となりそれより髪の毛を伸ばしてはいけないとか、前髪はピンで留めなければならないという中学校のルールである。男性の方は坊主になりそうくらい髪の毛を短くしなければならない。想像するだけでタイの中学生の時代がかなり辛い人生の時期だと感じる人がいるだろう。

2. 6 その他

利点：服を選ばなくいいから時間の節約になる。

家族代々なので節約できる。

季節によって変わるので季節感がある。

欠点：見た目がダサくても着なければならない。

スカートが嫌な女性はしょうがなく着なければならない。

犯罪の対象になる可能性もある。

よく洗濯をしたりアイロンをかけたししなければならないので維持や取り扱い方が面倒である。

値段が高いため子供の体が伸びていても新しい学生制服を買わない親もいるので、子供が苦しく感じてても体にぴったりしすぎる制服を着なければならない。

3. 学生制服を持っていない国の観点から

- 子供っぽい印象を与える。
- 服を選ぶ自由が大切なことである。
- 学生制服を着ることが個性が出せない。

おわりに

上記から分かったように学生制服に利点があれば欠点もある。参加者の中で学生制服を着たことがある人は学生制服の多くの欠点を感じていたが、最終的に「学生制服があった方がいい」「学生制服が着れてよかった」という共感がある。一方では、学生制服を着たことがない人は「学生制服がなくても構わなかったり困らなかつたりする」、「ないほうがいいでしょう」という意見だったが、もし機会があれば学生制服を着てみたいと述べていた。日本はそういう機会を与える場所なので是非是非学生制服を体験してみたらどうだろう。

(文責：ギッティスリパン・ジャールラック (ジェーン))

3班 結婚について

メンバー：岩瀬有加（女・日本）、小池和裕（男・日本）、リュウ・エツ（女・中国）、
リン・イーリン（女・台湾）、シン・ジンヨン（女・韓国）、
セラフィン・カロリーナ（女・ポーランド）

①結婚をすべきかどうか

日：「負け犬」という言葉があるから、結婚はしないといけないと思う人が多い。

中：中国にも「敗犬」という言葉がある。

韓：昔→結婚は当然で社会的なもの。今→自由(女だからしなければならないという概念は減っている)

ポ：負け犬みたいな言葉がある→昔はよくない意味で使っていた。

他にも、結婚は法に縛られるが恋愛は法の影響をうけない、独身はひとりで自由で良さそうに見えるが、心理学的に幸せではないとか、事実婚のありかたもかんがえていくべきではないか、という意見などもでた。

②離婚はしてもいいのか

中：離婚は悪いと思う人が多い→その後の問題が面倒だから。

韓：今では3組に1組が離婚する時代である→夫婦で働ける(自分ひとりで生きていける社会になった)、周りの目が気にならなくなった。→自分の幸せを考える余裕が生まれた。

日：バツイチという言葉があるように、離婚するとその人の価値が下がってしまうような風潮がある。

基本的に、離婚したての人の前で恋愛の話をするのはタブーである、という考えはみんな共通であった。

③男女の役割の理想と現実

どの国でも、理想と現実としては

理想→家事も仕事も半分半分、現実→女は家事(+仕事)、男は仕事だけ というのは共通していた。

また、育児休暇について、

韓：男性が育児休暇をとることは、テレビのドキュメンタリーになるくらい珍しいこと。

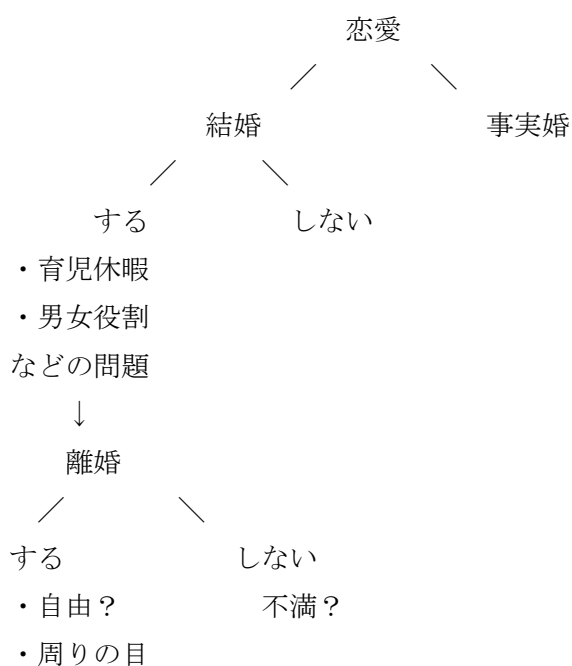
中：女性は育児休暇をとると会社は有給にしなければならない法がある→会社としては好ましくないから、はじめから女性を採用しないところが増えている。

ポ：夫婦共働きの場合、夫が家事もするのはおかしい、めずらしいと思うが、妻が家事もするのは普通で何もおかしくない→この差はなんなのか？

また、アジア→妻が一切の収入を管理するのに対して、ポーランドでは夫婦別々に管理するという違いがあった。

まとめ

恋愛からの流れを図にまとめると下記のようになった。



そして

- ・グローバル化による価値観の多様化→新しい考え方の流入
- ・個人主義の進行

などの観点からも結婚、離婚の形や現状は多様化している。

↓

どの国でも比較的女性の方が結婚などに関する社会的評価を厳しく受ける傾向にあるが、これから、もっと多くの方が暮らしやすく幸せな社会になればいい。

(文責：岩瀬有加)

4班 結婚

メンバー

小川勝紀夫(日本・男)、青木佳代(日本・女)、セツ・ボタン(中国・女)、
キム・チョルウン(韓国・男)、グエン・ティー・フォン・マイ(ベトナム・女)、
ナウラット・アンナ(ポーランド・女)

最初は結婚をテーマにして広く議論しました。議事録を中心に載せていきたい
と思います。

結婚とは

結婚するかどうか？

キム：結婚は大切。

セツ：結婚はするのが当たり前。

マイ：結婚する。当然。

アンナ：結婚したくない。子供は好きではない。なぜなら、パートナーシップ
を重視するから。キリスト教では結婚しないことは罪だが、しな
い人も増えている。

青木：結婚したい。子孫を残したい。日本では婚活などが行われている。

小川：結婚はしたくないけど、子供は欲しいと言う女性もいる。

マイ：シングルマザーは子供がとてかわいそう。そのような人がいるとシン
グルマザーが増えてしまう。

嫁入り

日本では男性が女性の家族の家に行って、“結婚を前提に付き合っています”“娘
さんをください”などの挨拶をしに行くのが通例だが、どう思うか？

セツ：中国ではある。

キム：韓国でも見られる。

マイ：ベトナムでも男性が女性の家にあいさつをしに行く。

アンナ：あいさつとかはない。あいさつなくても不安に思わない。

結婚した後の家族

日本では結婚した後、昔から結婚した後、女性が男性の家に行って家事など世
話をするのが多く見られるが、他の国ではどうか？

マイ：ベトナムでは女の人は男の人の家族に入る。日本で言う嫁入りと呼ばれ
る状態。

キム：韓国でも同じで基本的に女性が男性の家に入る。女性が元の家族に戻ってこようとしても、もう嫁として嫁いだのだから帰ってくるなどと言われる。

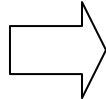
セツ：一人っ子政策なこともあって、お互いの家族が奪い合うような印象を受ける。

青木：日本も中国も韓国もベトナムもどちらかの家族に入る感じで似てるね。

アンナ：私の国での考え方は全く違う。日本などは片方の家族は「家族を失う」という感じになっているが、ポーランドでは「家族が増える」という考え方をしている。

結婚と家族

両親にあいさつ
をしに行くか？



ポーランド…できればあいさつする。
日・韓・中・ベ…男性が女性の家に行ってあいさつする。

※もし、両親に交際 NG を言われたらどうするか？

○問題ない。→ポーランド…2人の問題だから両親は関係ない。

△少々問題あり。→日本・韓国・中国…両親と縁をきるくらいの覚悟が必要。

×問題あり。→ベトナム…交際相手よりも家族の方が大事という考え方。

嫁入りなどの習慣について

ポーランド…相手の家族も自分の家族にするという考え。家族が増えていくイメージ。

日・中・韓・ベ…基本的に日本で言う嫁入りをする。

(文責：小川勝紀夫)

5班 男女関係へのつぶやき

チョウ・レイナ (中国)

バイ・リン (中国)

イ・ユンギョン (韓国)

タパネイナイ・トンミ (フィンランド)

室田大樹 (日本)

山本優衣 (日本)



☆☆国際交流合宿 プレゼンテーション☆☆

私たち5班は、ジェンダー問題について話し合いました。

なぜ男性は仕事、女性は家事というイメージがあるのか？

男女で出かけるとき、なぜ男性ばかりがおごらせられるのか？・・・

そういったジェンダーに関わる疑問を、それぞれの国の例を交えつつ、デート、結婚、仕事、リーダーの4項目に分けて考え、パワーポイントを用い発表しました。

1 「男女関係へのつぶやき」

❀♡男女関係へのつぶやき♡❀

5班
室田、チョウ・レイナ、バイ・リン、
イ・ユンギョン、トンミ、山本

2 「デート」(担当：山本)

デート

- なぜ男性がおごることが多いのか、これは当たり前のことなのか？
→男性が年上、女性が年下が多く、収入の差があるため？

※日本語講座1「ヒモ」
・・・男性が女性に養われていること。
Ex. 彼氏はミュージシャンを目指し低収入、彼女はOLで稼いでいる。
→男は働くべきと感じる！

- なぜ男性がおごることが多いのか。
- 日本語講座「ヒモ」

3 「結婚①」(担当：トンミ)

結婚①

- 結婚した時の姓
→日本やフィンランドでは男性に合わせることが多いが、中国、韓国では夫婦別姓

※フィンランドでは姓を合体（がったい）することができる！
Ex. 日本人に例えると…
鈴木さんと井上さんが結婚→「鈴木井上さん」

- 結婚後の姓について
- フィンランドの結婚後の姓の考え方

4 「結婚②」 (担当：バイ・リン)

結婚②

- 結婚した後もどちらかの実家に住む場合、男性の家にお嫁に行くことが多い
- 女性が結婚する際は、男性の実家の車と家をチェック！
- 女性は容姿（ようし）と歳が重要。
- 男性は経済的・社会的地位が重要。
（学生結婚は除く）

※ 中国の女子大生は、大学卒業後就職することが難しいため、美人は大学生のうちから金持ちの男性の愛人として、お小遣いをもらい養われる。
（実家が貧しい大学生が多い。働きたくないからという理由も）
ただ中国からみると、日本人はキャバクラなど夜のお仕事が多い。

- 結婚後、どちらの家に住むか。
- 結婚する際、相手のどこをチェックするか
- 中国の男女の裏事情について

5 「仕事」 (担当：チョウ・レイナ)

仕事

・男は仕事、女は家事。もしくは男女共働き。

男性の仕事：理系、エンジニア、政治家、医者、公務員、軍人、力仕事、運転手、警察、消防、外の仕事

女性：文系、看護師、受付、事務、秘書、幼稚園の先生、ファッション・美容系（しかし有名、トップなのは男性）、内の仕事

- 男性のするイメージの仕事は？
- 女性のするイメージの仕事は？

6 「リーダー」 (担当：イ・ユンギョン)

リーダー

- リーダーのイメージは男性。
- 女性のリーダーは怖いイメージ。＝より男性的なリーダー

- リーダーに必要なもの
男性的：決断力、強い意志、指導力、厳しさ
女性的：部下への気遣い、意見をよく聞く

→現代のリーダーは両方必要！

- リーダーのイメージとは？
- リーダーに求められる要素について

7 「総括（まとめ）」（担当：室田）

総括（まとめ）

- 本スライドでは男女のステレオタイプに関する問題を、様々な具体例を提示して考察してきた。ただ、こうした考察から一般的な法則や理論を導くには至らなかった。現在も世界中に残存する（のこる）性差別を是正する（なくす）ためには、こうした問題に対して継続的に意識を向ける必要があるだろう。
- 我々の考察はこれまでだが、皆様にも自己の問題としてとらえ、真摯に向き合っていてほしい。

・世の中に存在するジェンダー問題を少しでも解決してゆくために、一人ひとりが意識をもってこの問題と向き合う必要がある。

（文責：山本優衣）

分科会の様子



6班 各国のお正月

参加者：キン タイゲツ（中国） カク ノリ（台湾）
 チェ スヒョン（韓国） パシエコ レアントロ（ブラジル）
 パスカル メスマー（ドイツ） 井出 恵子（日本）



↑それぞれの項目を表にまとめて記念撮影

テーマ設定にあたって

この、東京学芸大学初めての試みである山中湖交流合宿は、2010年2月13日（土）、14日（日）という日程で行われた。この年の2月14日は旧暦で正月にあたる日であり、中国、台湾、韓国からきた留学生にとっても一大イベントとなる日である。そんな14日を前日に控えた13日のテーマ決めするとき、「各国のお正月文化を発表、比較してみては」という声をあげたのは中国から来たキンタイゲツだった。テーマ決めでもう一つの候補となっていた「ジェンダーやセックスの意識」と比べて、このテーマは単なる紹介のみにとどまってしまうのでは、という危惧も初めはあったものの、各国の文化の差異や共通点から様々な疑問や発見が生まれ、自国や他国の文化に今一度目を向け直す良い機会になったといえるだろう。

各国のお正月 比較項目

以下に、お正月に関して比較した項目を挙げておく。

①祝う日（旧暦か新暦か）

一般企業の祝日扱いになる日数

②一緒に過ごす人

③新年のあいさつ

④食事

⑤活動

⑥お正月の歌の有無

⑦その他

各国のお正月

まず暦だが、ドイツ・ブラジル・日本は新暦、中国・台湾・韓国は旧暦であった。祝日はドイツでは1月1日のみ、日本では三が日つまり1月1日から3日まで、台湾・中国では新暦にあたる12月31日の大晦日から1月6日、韓国では同じく新暦にあたる12月31日の大晦日から1月2日ということであった。

次に、一緒に過ごす人は、ドイツ・ブラジルでは友人、中国・台湾・韓国・日本といったアジアの諸国は家族であった。下の表は、当日作成したものと同じものである。また、中国と台湾は、お正月文化がほぼ同じであったため、一つの欄にまとめた。その他の項目の「♪」はお正月の歌があることを示している。

	暦	人	あいさつ	食べ物	活動	その他
ドイツ	新	友達	FROHES NEVES YOUR (フロ-ヘス ノイエス ヤー)	肉のフォンデュ シャンパン	ブライギーセン 花火	よっばらう
ブラジル	新	友達	FELIZ ANO NOVO (フェリシ アノ ノヴ)	たくさん食べ物	波乗り 花火	よっばらう ♪
中国・ 台湾	旧	家族	新年快樂	餃子 魚	春聯貼り 花火	お年玉 ♪
韓国	旧	家族	セヘ ボク マニ バドセヨ	もち汁	先祖に御祈り 親にあいさつ たこあげ	お年玉 新しい服 ♪
日本	新	家族	新年明けましておめでとう	年越しそば おせち お雑煮 おもち	たこあげ 羽根つき こま	門松かざり お年玉 ♪

まとめ 一考察・感想一

まず気付いたのは、アジア勢とその他の西洋の国との違いである。我々の班の中でのアジアの国々は盛大に新年を祝うのに対し、ドイツとブラジルではお年玉やお飾りといった伝統的な文化とよべるものはなかった。お正月を一緒に祝う人も、アジアでは家族と、西洋では友人とであった。(そのかわり、ドイツやブラジルはクリスマスを家族と過ごすということだった。)しかし、注目すべきなのはアジアである日本が、欧米と同じく新暦でお祝いをするということである。ここは、議題になった点である。考察と議論の結果、日本もかつては旧暦で祝っていただろうが、明治時代の文明開化で欧米のあおりをうけてその際に暦を変更したのではないか、という結論に至った。また、ドイツ語の「FROHES」はブラジル語の「FELIZ」と、「NEVES」は「NOVO」と、それぞれ発音が似ているだけでなく同じ意味を示していることがわかった。同様にアジアのあいさつでも「新年」と「セへ」は同意であり、また似た発音であるというのもわかった。お正月文化を伝えあうという議題から、語源や、国の歴史を考えるまでに至ったのである。また、発表は、国ごとに行ったが、最後にお正月の歌を歌った。日本の「もういくつ寝ると〜」という歌を歌ったときにたくさんの留学生と一緒に歌ってくれたことから、留学生がいかに日本について興味をもち、調べているかということが実感できた。

これまで述べてきたように、アジアと西洋、という地域によって「お正月」に対する考え方や文化が全く異なることから、地域ごとに文化が発達し国ごとに分岐し、また国ごとに発展していったという、文化圏や歴史ということを考えさせられた。

議論は日本語を中心に、英語やポディランゲージを用いて行われたため、円滑には進まなかったが、他国の文化を知るだけでなく、自国の文化やその歴史にまで考察が及ぶ、充実したものであったといえるだろう。

(文責：井出恵子)

7班 5ヶ国対比！色々な交通機関

参加者

鈴木 麻生（日本）

釣部 恵梓（日本）

マー・マキシミアン（アメリカ）

エバギェイン・マーロン（フィリピン）

リュウ・セキ（中国）

チン・カンキ（中国）

ソルベイ・スマレ・サンビック（ノルウェー）

はじめに

今回の私たちのグループの留学生と日本人学生をあわせると全部で5ヶ国の異なった人たちで構成されていることがわかった。そのため、普段私たちが使っている交通機関に興味深い違いはあるのか考えたことから今回の話し合いははじまった。分科会の前のささいな質問から「ノルウェーではこうなの」という発言から「日本ではこうなの！」「えー！中国ではこうだよ。」というように今まで聞いたことない情報が盛りだくさんだった。これをまとめて比較するとたくさん違うところが見えるかもしれないという意見から一つずつ交通機関を具体的に話し合った。今回は5つの国と5つの交通機関を比較してみた。5つの国はアメリカ、中国、フィリピン、とノルウェーである。5つの交通機関は電車、車、バス、タクシー、と自転車を比較した。特徴的な違いをそれぞれの交通機関に分けて記していく。

電車

最初の話し合いは分科会の前に行った質問から始まった。その質問は電車を場面にしたものだった。そこからノルウェー出身のスマレさんが日本の電車では子どもたちは静かでお行儀がよいと言った一言から日本の電車では電話もしてはいけなく、飲食もそれほどしてはいけないということから、他の国はどうかのだろうという話し合いが始まった。日本で特徴的だったのが朝の通勤ラッシュの時間には女性専用車両が設けられているということだった。次にアメリカでは大都市のみにあり郊外では電車はない。中国では日本とは逆で電話・飲食は可能で、アメリカ同様大都市に多い。フィリピンでは電話は可能だが、飲食・ペット・酔っている人は電車に乗ることができない。最後にノルウェーでは発車ベルなどはなくとても静かだと言うことが分かった。

車

次に車はどうかのだろうかと私達は話し合った。初めに日本から見ていこう。日本ではクラクションを鳴らすことがあまりなく、右側運転、左側通行が他の国と比べて特徴的であ

と挙げてみた。次にアメリカではさすがに大きい国であり車社会でもあることから平均4車線もあるだけでなく16歳以上の子供はほぼ一人一台車を所有していることが分かった。中国ではカウントダウン信号というのがあり、赤や青になった瞬間あと何秒間赤でいるのかを通行者に示してくれるものがある。ほかにもよく中国ではクラクションを鳴らし、道にいる友達への挨拶代わりに使われている。フィリピンでも中国と一緒にクラクションを挨拶代わりに使うとともに文句に対しても使うので道はクラクションの音であふれかえっている。そしてアメリカ同様16歳から運転が可能である。最後にノルウェーでは車を使うが、一人一台ではなく何人かでシェアをしたりカープールをするという形で車を使っている。都市と郊外で車の所有者の差が大きいのも特徴だと挙げられた。

バス

日本では交通手段としては欠かせないバスは他の国でも使用されているのだろうか。日本では自分が降りますと伝える下車ボタンがあり、運転手が動作ごとに（動きます、ドアを閉めます等）アナウンスをしてくれる。一方アメリカではあまり利用をしないということが分かった。私達のグループのマーさんは一度もアメリカでバスに乗ったことがないほどであった。それに比べて中国では二階、あるいは二両バス（バス二台分ぐらいの大きさになる）もあるという。下車ボタンはなく全停留所に停車し、値段はどこまでいこうと一律であるという。フィリピンではなんとバスにアシスタントがいることが分かった。料金は距離に応じることが多く、その支払いはアシスタントにするのだ。ノルウェーのバスはベンツであり、中の空間も広く、中国のように二両バスもある。日本では動作も停留所もアナウンスすると書いたが、それに比べてノルウェーでは停留所のみアナウンスをするのだという。

タクシー

次に各国のタクシーを比べてみた。日本ではタクシーのドアは自動ドアであり運転手が開け閉めをしてくれる。運転席と後部席の間の仕切りはプラスチックであり、音楽を車の中でかけていることがほとんどない。アメリカでは料金とは別にチップを払う時があり、タクシーは郊外よりも大都市に多い。（ニューヨーク等）中国では日本では仕切りがプラスチックだったのに対して安全性を重視しているため金属が使われている。しかし、他の国と比べて料金がとても安かった。フィリピンも料金が安いのが特徴的だったのに足して酔っている人が多く利用しているのを見られるのだという。なぜなら酔っている人は電車に乗れないため、多くがタクシーを利用して家に帰るのだ。ノルウェーは他の国と比べてタクシーは高い乗り物であり、初乗りの料金が高く、タクシーの車種はBMWかベンツである。

自転車

日本の学生にとっては通学の手段として多く使われているイメージである自転車はどんな

のだろう。日本では自分が通りますということを示すベルを鳴らすことが少なく、雨の日は傘をさすことが多い。一方アメリカでは普段車に乗ることが多くあまり自転車を使う機会がないため、子供が乗るイメージだということが分かった。中国の自転車はライトがなく、日常生活の中では主な交通手段であり雨が降っても傘をさすことはなくレインコートなどを着る。フィリピンではアメリカと同様あまり自転車を普段使うことはなく趣味として使用している人が多い。最後にノルウェーでは雨が降るとみんなレインコートを着用し、日本ではあまり使われないベルを相手に自分を知らせる合図としてベルを鳴らす。

まとめ

私達は今回 5 ヶ国の交通機関に絞って色々な視点からひとつの交通機関について話し合った。ひとつの交通機関を見てもたくさんの違いが見られたことからみんなは終始驚きの声ともっと詳しく知りたいという姿勢が見られた。自分があたりまえだと思っていたことがすぐ近くの国ではまったく違ったり、遠い国と一緒にあったりとおもしろい発見をたくさんすることができた。今回の分科会を通して私達はお互いの国の特徴や日常を垣間見ることができたのではないだろうか。今まで考えたこともないことを異なる国から来た 7 人の頭を足すことで新たな視点で見ることができた。みんなが有意義な時間をすごすことができ、一つの作品を作り上げたことに国境を越えた絆ができたのは間違いないだろう。

(文責：鈴木麻生)

全体会の様子



資料

・ 活動1 心を広くするトレーニング

- ① 各グループ別に、次の問題を書いて、話し合う。
 - ② 各グループ別に、全体に対して報告。(面白い理由を発表)
-
1. 次の状況で自分がほめられたときに、最初になんと言って答えるのか考えてください。
「日本語(英語)が上手ですね。」
 - ① 「いえいえ、まだまだです。」
 - ② 「ありがとうございます。」
 - ③ その他<理由>

 2. 電車の中で小さい子供が泣いています。あなたはその子のお母さんです。どういいますか。
 - ① 「こんなところで泣いちゃいけません。」
 - ② 「みんなに笑われますよ。」
 - ③ その他<理由>

 3. 同じクラブの学生に「飲みに行こう」と誘われましたが、都合が悪くていけません。どのように答えますか。
 - ① 「行けません。急に言われても困ります。もっと早く言ってください。私は予定がいっぱいです。」
 - ② 「すいません。その日はちょっと…」
 - ③ その他。<理由>

 4. 友人の自宅での夕食に夜7時に招待されました。何時に行きますか。また何時以降だと謝る必要があると思いますか。
 - ① 7時ちょうど
 - ② 7時()分前。
 - ③ 7時()分後<理由>

 5. 物をもらったら、どうするべきだと思いますか。
 - ① すぐお返しをする。
 - ② 次に会ったときに一言お礼をいう。
 - ③ 何もしない。<理由>

アンケート

名前 ()

PC メールアドレス (4月以降も使えるもの)

Q1 合宿に参加した目的は何ですか？(複数回答可)

1. 留学生・日本人と交流したかったから。 35
2. 友達を作りたいかったから。 20
3. 議論するのが好きだから。 2
4. 視野を広めたかったから。 17
5. 日本語・英語を使いたかったから。 13
6. その他 (TGUの取材、観光(旅行)したかったから、山中湖(富士山)に行きたかった。自然を楽しみたかった。雪のあるところに行きたかった。安いから)

Q2 合宿の各活動について

A=とてもよかった B=よかった C=どちらとも言えない D よくなかった

1. バス内の活動について A 10, B 29, C 4

<日本人学生>全体の様子分かるのでよかったが、後ろを向いてきいていたら車酔いをしてしまった/自己紹介をきくことができたのはよかったけど、時間がかかったので途中であきてしまった/自己紹介の時間配分をもっとかんがえるべき/思ったよりどんな人がいるのか分かったから自己(他己)紹介は良かった/1人1人紹介したんですけど、前の人は終わると後ろの人が見えなくて残念だった(聞かなくなる)/この合宿の第一歩にふさわしい活動だった/自己紹介は今後もとれた方がいいと思っている/自己紹介で隣人だけでなく他の人のことも知ることができた。

<留学生> 紹介だけ。ちょっとつまらないそうです。ほかの面白いことを聞きたい。活動したいです/知らなかった人と知り合ってよかったです/旅行の前に皆をしるようになってよかった/前に会ったことのない人達と色々活動する前に、やはり自己紹介しておいた方がいいです/すぐ他の人と知り合いになって、ちょっと相手のことわかる/色々な国の人をよく知られてよかったです。でもちょっと疲れて眠いですね/

2. 分科会について A 11, B 22, C 9, D 1

(コメント) <日本人学生>コンセプトがわかりづらかったです。統一テーマがあった方がよかったかも/新しい試みと言うことでお互いに交流を図れたのではないかと思います。分科会が伸びたので後のイベントに影響をもたらして時間的な問題があったので改善につながればいいと思います/何でもいいと言われると逆にやりにくい。投げ込まれたまま放置...という気がした/フリーテーマというのはやはりやりづらかった。調べる手段もないのでこんな風に議論をしても一般的なのかは不確かだった/議論楽しかった/心を

広くするトレーニングは不要だと思う。その時間を話し合いに回した方が有意義だと思った／グループ内で活発な議論になって面白かった／テーマはいくつか用意してあっても良かったかもしれないと思いました／時間があればもっとよかった／作業時間は少なかったが発表内容は充実していた／みんな熱心に議論をしてくれた

<留学生> 日本人と交流できてよかったです／いいアイデアでしたが、ちょっと複雑になりました／楽しい時間を過ごすことができました／グループで問題を相談して発表のテーマを決めて、それぞれの思想を交流できてよかったです／みんなと議論しました。結婚について、他の国の人の考え方を知ってから一緒に発表しました。いい経験です／テーマが決まってから話し合いじゃなくて、逆によく話し合ってみんな注目することをテーマにする。それは結構いいと思う／最後にした発表の投票についてはいらなかったと思います。みんながんばったのでポイントをつけることは必要じゃないと思います／準備の時間が足りなかった／発表は必要ないと思います／

3. 交流会について A22, B 10, C 1

(コメント) <日本人学生> シンプルで単純に楽しめました／寝てしまったが..楽しかった／人数とセッティングをもう少し考えていてもよかった。仲がよい人同士で座ってしまって残念だった。お風呂の時間との兼ね合いももう少しどうにかしてほしい／一人の人とたっぷり話せた。時間に区切りをつけなかったのも良かった／ゲームとかグループ対抗のものとかあったらよかった／レク等で全員で盛り上がる時間があってもよかった／留学生と話ができてよかった／正直言うと酒が足りなかったと思う／なにかイベントがあると◎、あと席は初めクジがいいと思います／

<留学生> 時間が短そうです。まだ色々話したいです／ちょっと時間かかって旅行を楽しむ時間が少なくなりました。でも、自分の国の話をみんなに教えるのはよかったです／先生や日本人の学生と話したりすることはいい体験でした。楽しかったです！／交流会を通じて色々な国の人の考え方や価値観が聞けてよかったです／交流会を視野と創造力を広げられるチャンスとして思います／みんなもっと深く理解し合って、友達になった／中国の春節と重なったためにすごく盛り上がりました。少しうるさくなって、ごめんなさい／言うまでもなく一番楽しかったです／

4. 1日目湖畔での活動 (ダイヤモンド富士、キャンドル、花火など) A 8, B 19, C11, D3

(コメント) <日本人学生> ダイヤモンド富士みれなくてざんねんでした。キャンドルきれいでしたがもっとくらくらしてからも行きたかったです／もう少し時間があればよかったですと思います／留学生はとても富士山を楽しみにしていたが、私はそこまででもなかった。あとは別になんともいえない／明るかったり花火見れなかったりもう少し自由度をあげてほしい／晴ればもっとよかった。寒さ対策／寒かった。富士山見えなかった。でも天気は仕方ない／キャンドルと花火を最後まで見たかった。もう少し時間を延長してほ

しい／珍しいものが見れてよかった／

<留学生>遊びに行きたい。時間が短かった／花火はよかったです／美しかったです、時間が短すぎて、残念でした!!!／富士山が見えなくて残念です／楽しかったです。写真もいっぱい撮れました／すごくきれいな景色を見て、きれいな写真を撮った／キャンドルより、現地の人の歌に感心しました／キャンドルを見るためにもっと時間がほしかったです。

5. 全体会について A14, B21, C 4, D1

(コメント) <日本人学生>それぞれのグループごとに工夫があつてよかったと思います／何人かで1つの発表をするのに5分で終わるのは難しい／各班のカラーが出ていておもしろかった／議論する時間がとれなくて50人で発表はやはり大変／色んなことを聞いてよかったです。もしマイクがあれば発表の時よかったですかなと思いました／討論の時間もあればよかった／みんなそれぞれ国際的な比較をしていたのがよかった／

<留学生> 皆さんと一緒に話して楽しかった／いい思い出になります／みんな色々なことを発表してすごくおもしろかった。そして他の国の風俗も勉強した／1班の発表はすごくおもしろかったです。昔の会話の授業を思い出しました／みんなは全部そんなに短い時間でいい発表ができた／みんなのプレゼンテーションは面白かったです、個人的に一番気に入ったのは、バレンタインについての発表です／

6. 観光について (忍野八海) A17, B15, C4, D1

(コメント) <日本人学生>説明がほしかった／楽しめました／とても美しく感動しました／観光もできてよかったです。時間もいい感じでした／とてもきれい！行けてよかった。もっと時間を使って八海まわりたかった／是非次回もこういった企画を取り入れてほしい／水車とかカモとか面白いものが見れた／

<留学生> きれいな水で、黄色いと青い魚は初めて見ました／きれいなところですし、和菓子もおいしかったですし、帰り道に寄ってよかったです／すごくきれいな水と不思議なゴールデン魚が見た／きれいなところでした。来てよかったですと思いました。

7. その他、なにか意見がありましたらお願いします。

<日本人学生>今回参加させていただきありがとうございました。多くの人と交流できてうれしかったです。プレゼンを通して他の文化をくれたのでよかったです／表面的な友達ではなく、一緒に生活する体験を留学生とできたのはとてもよかったです。でも、どうしても仲良い人同士が集まってしまうのでクジなどで強制的に離れる必要があります。また合宿の主旨が留学生との交流ならば、議論も発表も必要ないのではないのでしょうか。色んなことを国際比較できたのはよかったです、発表内容が中途半端なままの班もいくつかあったように感じました／全体的にタイムマネジメント、指示出しが悪かった。大学生(以上)であれば、この規模であれば、もう少し厳密かつ丁寧に準備と当日マネジメントを

するべきだと思う／全体にタイムスケジュールがしっかり伝わればもっとよかったと思います／時間があいまいでした／参加してとてもよかったです！！／

<留学生> このような活動はたくさん参加したいです／体操もよかったです。外でもっと時間を過ごせばいいと思います／外でも活動したらいいです／合宿の時間ももっと長ければ、交流ももっとできるし、発表もゆっくり準備できるし、一言で言えば、時間がぎりぎりだ／自由な時間短すぎる／ご飯はおいしかったです。ごちそうさまでした～／一緒に遊べるスポーツ（タッチボールやバレーボール、足球など）をしたらよいと思う／

Q3. 次回の合宿でぜひ話してみたいトピックは何ですか？

<日本人学生>歴史／gender／日本における「外国人」という観念と扱いについて（ある種の公務員になれなかったり口座やクレジットカードを作りにくかったり）／どんな大学生活を送っているかといった日常生活など／食べ物

<留学生>More cultural exchanges /各国の文化、社会など／異文化について／日本のお墓／日本の男女関係／外国人は日本人の若者と友達になる可能性がありますか？／日本の第三次産業、日本でしか売っていないおもしろいもの／日本の漫画文化／アニメと漫画／別にはないです。ただ、前もってトピックを準備してほしい／趣味

Q4. 合宿に参加してなにか得られましたか？

<日本人学生>いつもとはまったく異なる環境に置かれたことで、あらためて自分の考え方を認識することができました／雪についての知識／友／異文化に触れる面白さ／いつもは知り合えない人と出会えたこと／色々な国の状況をネイティブからきけてとても勉強になった／色々な国の違い／初！国際交流／多くの人々と話すことができ、それぞれの国に対するイメージが変わった／

<留学生> Every country has their interesting customs & practices that makes them unique /日本の学生生活は楽しいです。合宿は中国ではないです。学生一緒に場円強したり、話したり、遊んだり、すごくいいと思います／友達と親しくなったし新しい友達もできました／日本語の練習／色々な国の話を聞いて、異文化を知りました／優しくと面白い人をたくさん知り合ってよかったです。それから、同じテーマについて国によって考え方が違うと分かるのは興味深かったです／皆さんと交流できてよかったです／いい人と知り合えたし、発表の活動からも色々学ぶことができました／日本語が少しだけうまくなりましたかも。日本人と交流して新しい友達をできたと思います／新しい友達ができた。そしてすごくきれいな景色が見てよかった／色々な国の学生と話し機会を得たこと／日本語を練習しました。みんなは親切です／友達／日本人とともに話すことがやさしくなかったが、今回いい機会になった／This trip was an excellent opportunity to practice Japanese and meet new friends. /色々な国の人達は色々な意見を持つて当たり前か

もしれないけど、やっぱり面白い／

Q5. あなたの意見・感想を自由にご書いてください。

<日本人学生>スケジュール組をもう少し細かくするべきだと思う。2日間という限られた時間の中で、色々なものを詰め込みすぎたのでは？この交流会が「議論」がテーマならもう少し議論を強調すべきだし、そのような時間を設けるべきだったと思う／楽しかったです／次回も参加したいです／時間が短かったので今回は無理だったと思いますが色々なグループで違う活動ができればよかったです（今回は大きなプロジェクトでグループメンバーと仲良くなれてよかったんですけど）今回知り合いがほとんどいなかったんですけど参加してよかったです。楽しい合宿をありがとうございました／「日本の若者よ。日本文化を誇れ！そしてそれに恥じぬよう生きろ！！」と叫びたい／一泊二日でしたが充実した時間を過ごすことができました。とても楽しい思い出になりました。ありがとうございました！／こういう旅行をもっとたくさんやりたいです

<留学生> **It's just too bad that the weather is bad that we were not able to see what really went for.** /富士山を見てなかった。すごく残念だと思います。来年また来たいです。まだ日本語が下手だから言いたいことは話せない。ちょっと寂しいです。日本語はがんばって勉強します。皆さんにちゃんと伝えたいと思います／討論会と交流会を参加してとても楽しかったし、色々勉強になりました／意見はないんですけど、もっと自由時間をつくってほしいんです／とてもいい合宿でした／合宿は每学期2,3回行われたらいいと思います／とてもたのしかったです。次回もぜひ参加したいです／ほかの留学生と日本人の学生と合宿をきっかけで交流できて、嬉しく思います／合宿は最高だ！すごく面白かった。参加してよかった／天気が寒いんですけど、みんなの情熱はアツアツです～／日本人の学生ももっと参加したらいい。観光ももっと。二三泊の方がいいと思います／海へ行きたい／今度合宿を行うときに、みんなの連絡名簿を作ったら便利だと思う。みんなよく話し合っていて、頻りに電話などを交換して、楽しいけど、ちょっとめんどくさい。最後に、みんなとった写真は、インターネットであるスペースがあって、みんなの写真を自由に分かち合ったらいいなあと思う。先生とスタッフたちは、いろいろなことをやって、今回あなたたちの努力がないと、そんなにすばらしい体験は得られません。ほんとうにありがとうございました。お疲れ様でした／スケジュールはちょっと忙しかった。もっと自由時間がほしかった/**Maybe, a loose schedule would be better for the interaction.** /もっと観光したかった。ずっとセミナー室にいてもったいないと思います。といっても楽しかったです。

ご協力ありがとうございました

スタッフとしての一言

ただ遊びに来るだけだと思っていた留学生も結構いたみたいでしたが、分科会での話し合い・発表にも皆さんとても協力的だったので、特別スタッフとして大変なことはありませんでした。何人かの留学生とは、バスの中や交流会では個人的にもじっくりと話をすることができてとても勉強になりました。やはり合宿だと話しをする時間がたくさんあって普段話さないような話題も挙がるので面白い。それがいいところです。他の国の人とじっくり話しをすると、その度自分で知らなかった、気づいていなかった事が発見できます。こういった交流合宿の中でもっと日本人と留学生との交わりが増えれば良いと思います。(岡部)

スタッフの中でたった一人の留学生なので最初は不安でしたが、「留学生の意見が聞きたい」とか「来年留学生のスタッフが増えたらいいな」とか、と聞いた時とても嬉しかったです。参加してよかったです。(ジェーン)

日本人だけのセミナーには何回か参加したことがありましたが、留学生も混じってのセミナーは初めてでした。さらにスタッフとして活動したのも初めてで、とても良い経験になりました。今回初めての試みでしたが、収穫・課題ともにたくさんあったかと思います。是非次にいかせたらなと思います。ありがとうございました。(小川)

今回初めて合宿を企画したが、合宿直前にもう一人の先生が行けなくなり、一人で合宿を運営するのが、とても大変でした。もちろん、スタッフの皆さんも色々企画を考え、司会などもしてもらって大いに助かりましたが、アンケートの中の意見にもあったように、時間管理がよくなかったというのが大きな反省点です。天候も悪いし、「ダイヤモンド富士ウィーク記念行事」に参加するかどうか、判断に迷いましたし、また、暗くなるのが思ったより遅くて、キャンドルや花火が十分見られなかったのは、残念でした。最初の活動が思ったより長くなったり、分科会の討論時間が十分とれなかったりと反省点は山積みですが、これらすべて次回は改善していく課題です。いずれにしろ、留学生と日本人学生の交流がよりいっそう図られたことは非常に意義があったし、基本的にはみんな楽しめてもらえてよかったですと思います。次回以降は、是非学生諸君が主体となってこの合宿を運営し発展させていってほしいと思います。もちろん最大限私もお手伝いしますので。(岡)